



ブルキナファソ

活動報告 2025年



©UNICEF/UNI1874348

ブルキナファソ

アフリカ大陸

日本の皆さまからのご協力で教育支援を実施している地域



すべての子どもに、「学びの質」を



©UNICEF/UNI909129

デジタル化の推進

教育の質を高めるため、中央台地地方、中南部地方、北部地方の3地域で、200人の教育現場監督官を対象に**200台のタブレット**を提供しました。教育現場の視察報告をオンライン化することで、各学校の課題や改善ニーズに迅速に対応できる体制を構築し、子どもたちにとってより良い教育を実現することができます。

スポーツを通じたインクルーシブ教育[※]促進

障がいのある子どもたちの社会参加を促進するため、ユニセフはサッカーボールやジャージ、ゴールネットなどのスポーツキットを配布し、知的障がいのある150人の子どもと、障がいのない7,320人の生徒が共にスポーツ活動に参加しました。こうした活動は、お互いを理解し、受け入れることの大切さを学ぶきっかけとなりました。

※障がいの有無にかかわらず、すべての子どもを受け入れる教育

1 すべての子どもに、「学びの場」を

学校建設プロジェクト

子どもたちに安全で質の高い学習環境を提供するため、中央台地地方、中部地方、北部地方、中北部地方の4地域にある6つの村において、次年度以降の利用を見据えた7棟の新校舎を建設しています。

各校舎には、3つの教室、校長室、倉庫のほか、障がいのある子どもも利用できる男女別のトイレ、教員用施設、手洗い場を整備しています。あわせて、**630台の生徒用机**など、学習に必要な備品の調達も進めています。

2025年末時点で、ほとんどの校舎の工事は70%以上進捗しており、2026年の完成を予定しています。完成後は、**1,260人の子どもたち**が、これらの新しい校舎で学べるようになります。



©UNICEF/UNI1874313



©UNICEF/UNI833467/Sanogo

仮設学習スペースの建設

国内避難民の増加により子どもの数が急増しているサヘル地方では、10か所の仮設学習スペースを建設し、**約700人の子ども(うち女の子350人)**が、学習を継続することができました。



©UNICEF/UNI1867661/Franco

3 すべての子どもに、「学びの機会」を

学校外の子どもたちへの支援

紛争や貧困などの影響で正規教育を受けられない子どもたちに対し、多様な学習機会を支援しました。

- 非正規教育センターへの登録：1,649人(うち女の子920人)
- 職業訓練プログラムへの参加：2,420人(うち女の子951人)
- コーラン学校[※]への就学：4,598人(うち女の子1,611人)

ユニセフが支援した、正規教育への復学のための補習クラスには、14,314人(うち女の子7,202人)の子どもたちが参加。その結果、11,172人の子ども(うち女の子5,481人)が学校教育に戻り、2024～2025年度を通じて学習を継続することができました。最終的には、当初の目標15,082人を上回り、**19,839人(うち女の子8,963人)**が正規教育への復学を果たしています。

※イスラム教の聖典であるコーランを学ぶための学校。ユニセフは、基礎的な読み書き・計算を学習できる教育プログラムを推進している。



©UNICEF/UNI904504

幼児教育センターの開設

学校や「子どもにやさしい空間」に併設する形で、**51か所**の幼児教育センター(Bissongo)を開設しました。地域で訓練を受けたファシリテーター(「小さなママ」「小さなパパ」と呼ばれています)が、子どもたち一人ひとりをあたたかく見守っています。

各センターでは、年齢に応じたおもちゃや教材に加え、フルーツジュース、ミレットケーキ、揚げ豆ケーキなど、栄養価の高い捕食を提供しています。

その結果、**5,423人の子ども(うち女の子2,812人)**が就学前教育を受けることができました。